

# エコ新聞

28年  
発行

2月 3日(水)  
児童会 環境委員会  
安行子どもエコクラブ

## 今年も、ラオスの学校に筆記用具を送ろう！

東南アジア、ラオスの学校を支援している方々が川口にいます。ラオスの学校では、ボールペン、鉛筆などはとても高くて手にはいりにくいそうです。

今年も安行小学校でラオスの学校を支援します！

お家に、あまっている文具はありませんか！？

今年は「ボールペン」、「鉛筆」だけを集めます。

使っていない新しい物で、あまっているものがあったら、ぜひ学校にもってきてください。

〈集める日〉 2月8日(月)



昼休み 1時35分～1時55分  
場所 昇降口

「ボールペン」、「鉛筆」を持ってきてくれた人には「1くすのき」さしあげます。わざわざ買うのではなく、あまって使わないものがあったら持ってきてください。

## ラオスって…どんな国？

5つの国に囲まれた小さな国(中国・ベトナム・カンボジア・ミャンマー・タイ)80%の人が、農業をしている国です。山の多い国で、電気が来ていないところもたくさんあります。

想像してみてください。(年間平均気温は、30度近いです。)

- ・電気のない生活。水道のない生活。クーラーや扇風機のない生活。
- ・道路(田舎)も、ほそくされていないところが多いです。

学校に行っている子どもが50%くらいです。女性は、文字を読める人が少ないです。



昨年の取り組みの様子  
2300本の鉛筆・ボールペンが集まりました



直接、手わたして文房具をプレゼントしてもらいました。

## お知らせ

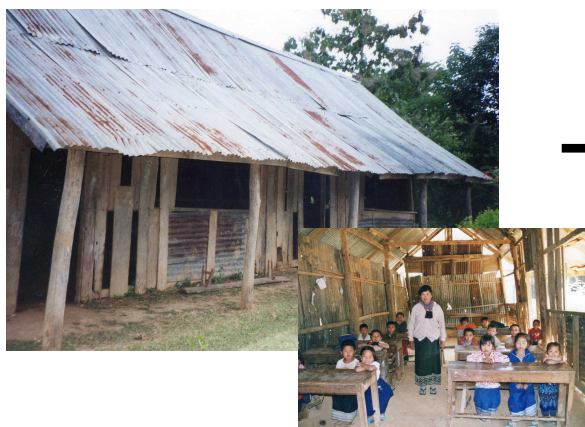
## 2月5日(金)「紙の日」

お家から、古紙をもってきてください。持ってきた人には「1くすのき」さしあげます。  
25分休み、クスノキの前で環境委員会が回収します。ご協力よろしくお願ひします。

1月27日（水）4年生が総合的な学習の時間、ラオスの子どもたちを支援している神山裕則さんからお話を聞きました。



たくさんの方々の支援で、雨もりがするトタンぶきの屋根の校舎は、素敵な校舎に建てかわりました。去年は、電柱をたて電線をひき、校舎にはじめて電気が流れ灯りがついたそうです。しかし電気はきてもまだまだ鉛筆などの文房具がたりません。



### 子どもたちの感想から

・わたしたちは学校に行けたり、電気がつくのは、ふつうのことだけど、ラオスの人たちはちがう。これからはいつもいじょうに電気などを大切にしたいです。鉛筆なども簡単に手に入る物だと思っていたけれど、紙一枚でも鉛筆一本でも、世界の中には、とつてもきちょうで、なかなか手に入らないんだと、あらためて思いました。物を大切にして、鉛筆など使っていないものがあつたら、ちゃんとラオスの子どもたちにきふしようか思いました。世界のの中のまずしい人の役に立ちたいです。そして喜んでほしいと思ひました。

・ラオスの子どもはやさしくて、親切でよいなあと思ひました。ラオスはすぐくまずしいけれど、学校を村の人たちで作つてすごいなあと思ひました…子ども達があちゃんの世話とかもしてすごいなあと思ひました。わたしたちは電気がつくのがあたり前だけど、ラオスの子どもたちは電気がやつとついでびっくりした思ひます。ラオスのことを少しでも、みんなにわかつてほしいです。そして、ラオスの子ども達に少しでも鉛筆とかボールペンとかを送つてラオスの子どもたちに喜んでほしいです。

・わたしたちにできることは、一本一本の鉛筆や一枚の紙を大切にひして、鉛筆などラオスにきふすることだと思ひます。ラオスは日本みたいには物がなひし、不便だと思ひけど、子どもたちは楽しそうにひしてひるし、良い所があつたたくさんあるんじゃないかなと思ひました。ラオスはまずしくても、とつてもすてきな国なんだと思ひました。神山さんがラオスに行きたくなる気持ちがあつた、わたしも少しわかつてひる気がひました。